

- 自らよく考え 創意工夫する子
- 豊かな心を持ち 助け合える子
- 心身ともに健康で 根気強い子



## 世界との差を越えて

～サッカー日本代表の歩み～



校長 屋宮 雄一郎

私が小学生だった頃、毎年「トヨタカップ」という名称で、ヨーロッパのクラブチャンピオンチームと南米のクラブチャンピオンチームが戦う世界一決定戦が日本で開催されていました。スピード、フィジカルの強さ、そして一つひとつのプレーの精度に圧倒され、「これが世界なのか」と胸を躍らせていたことを思い出します。当時の日本代表は、そのレベルとは大きな差がありました。ワールドカップに出場することすら難しく、「日本がこの舞台に立つことができるようになるには、今後何十年かかるのだろうか」と感じていました。

その流れを大きく変えたのが、1993年のJリーグの開幕です。プロとしてプレーできる環境が整い、多くの子どもたちが将来の夢にサッカー選手と書くようになりました。さらに地域に根ざしたクラブが広がり、育成の仕組みが全国に行き渡っていきました。

そして1998年、日本は初めてワールドカップに出場します。その後、悔しい敗戦も経験しながら、2002年大会ではベスト16入りを果たし、世界の舞台で着実に力を付けていきました。

特にここ10年の成長は目覚ましいものがあります。現在では多くの選手がヨーロッパのトップリーグでプレーし、世界最高レベルの試合を日常として経験しています。かつて私がテレビで見て驚いたあのスピードや強さが、今では日本の選手にとって当たり前基準となりつつあります。その結果、2022年ワールドカップでは、過去に優勝経験のあるドイツやスペインといった強豪国に勝利するなど、日本の実力は世界に認められる段階にまで到達しました。この成長は決して偶然ではありません。長い年月をかけて環境を整え、失敗から学び、挑戦を積み重ねてきた成果です。そして何より、「世界に挑み、勝つ」という意識が選手一人ひとりに根付いてきたことが大きいと感じます。私はかつて、世界との差はとても大きいものだと思っていました。しかし今、日本はその差を自らの努力で乗り越え、堂々と世界と競う力を身につけました。

このことは、子どもたちにとっても大切な学びになるはずです。目の前の差がどれほど大きく見えても、努力を続けることで道は開けます。サッカー日本代表の歩みは、そのことを私たちに教えてくれ、勇気を与えてくれました。

これからも子どもたち一人ひとりが夢を持ち、諦めることなく挑戦し続けてくれることを願っています。

2026北中米ワールドカップ決勝リーグ1回戦の対戦相手は、ワールドカップ最多優勝国のブラジル。今朝、そのブラジルに惜しくも敗退しました。しかし、今日までの挑戦する姿が、我々日本人に勇気と希望と感動を届けてくれました。世界トップの壁が目の前まで来ています。

『最高の景色への挑戦が続きます。がんばれ日本!』

日	曜	7月行事
1	水	ベルマーク袋配付 委員会活動③(アルバム) 一斉登校指導
2	木	
3	金	5年キャップハンディ体験(5・6H) PTA 実行委員会19:00
4	土	
5	日	
6	月	なかよし会(たてわり活動)13:05~13:30
7	火	
8	水	
9	木	個人懇談① 下校13:30
10	金	個人懇談② 下校13:30 6年非行防止教室(3H) 学校徴収金6・7月分再引落し
11	土	
12	日	0157 堺市学童集団下痢症を忘れない日
13	月	個人懇談③ 下校13:30
14	火	個人懇談④ 下校13:30
15	水	学校安全の日 全校4時間授業 下校13:30
16	木	給食最終日 PTA 大掃除13:05~13:30 下校13:40
17	金	終業式 2校時 下校10:30
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	夏季休業(~8/24)
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

### 8月の主な行事予定

- ・8/10~17 学校閉庁日
- ・8/25 2学期始業式 下校 10:30
- ・8/26 3校時 下校 11:30
- ・8/27 給食開始 下校 13:30
- ・8/28 4校時 下校 13:30